TADOKU JUNIOR　自然のふしぎ神話　★★★☆☆ ふつう　366語

How the Chipmunk Got the Stripes on its Back

シマリスのせなかに、しまができたわけ

Flora J. Cooke（1895年の本）　**原文そのまま**　朗読：Linette Geisel

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　インドのリスが、あらしで海に落ちたすから家族を助けようと、しっぽで海の水をくみ出していました。それを見た神さまは……。



Do you all know the little striped chipmunk which lives in our woods?

He has a cousin in far off India called the geloori.

It is said the stripes came on the back of the geloori in a wonderful way.

One day the great Shiva saw a little gray chipmunk on the seashore.

He was dipping his bushy tail into the sea, and shaking out the water on the shore.

Twenty times a minute he dipped it into the ocean.

In wonder, Shiva said, “What are you doing, little foolish, gray, geloori? Why do you tire yourself with such hard labor?”

The geloori answered, “I cannot stop, great Shiva.

“The storm blew down the palm tree, where I built my nest.

“See! the tree has fallen seaward, and the nest lies in the water; my wife and pretty children are in it; I fear that it will float away. Therefore all day and all night I must dip the water from the sea.

“I hope soon to bale it dry.

“I must save my darlings even if I spoil my tail.”

Shiva stooped and with his great hand stroked the little squirrel.

On the geloori’s soft fur from his nose to the end of his tail, there came four green stripes! They were the marks of Shiva’s fingers, placed there as signs of love.

Shiva raised his hand, and the water rolled back from the shore. Safe among the rocks and seaweeds, the palm tree lay on dry land.

The little squirrel hastened to it; his tail was now high in the air. He found his wife and children dry and well in their house of woven grass-blades.

As they sang their welcomes to him, the geloori noticed with delight that each smooth little back was striped with marks of Shiva’s fingers.

This sign of love is still to be seen upon the back of chipmunks.

That is the reason why in India, good men never kill them.

A man who loves both children and chipmunks says, when he tells this story, “Perhaps our squirrels, though Shiva never stroked them, would be grateful if we left them, unharmed, to play in the maples in our woods.”

和訳 シマリスのせなかに、しまができたわけ（How the Chipmunk Got the Stripes on its Back）

みなさんは、わたしたちの森にすんでいる、しまもようの小さなシマリスを知っていますか？

シマリスには、遠いインドに、ジェルーリというなかま（いとこ）がいます。

ジェルーリのせなかのしまは、ふしぎなことからできたと言われています。

ある日、えらい神さまのシヴァが、海べにいる小さなはい色のリスを見かけました。

リスは、ふさふさのしっぽを海にひたしては、はまの上で水をふりはらっていました。

一分間に二十回も、しっぽを海にひたしていました。

シヴァはふしぎに思って言いました。「おばかさんの小さなはい色のジェルーリよ、何をしているのだね？どうしてそんなにたいへんな仕事をして、つかれているのだね？」

ジェルーリは答えました。「やめるわけにはいかないのです、シヴァさま。

「あらしで、わたしがすみかを作ったヤシの木がたおれてしまいました。

「ほら！木は海のほうへたおれて、すみかは水の中にあります。すみかの中には、おくさんとかわいい子どもたちがいるのです。流されてしまわないかと心配なのです。だから、昼も夜もずっと、海の水をくみ出さなければならないのです。

「早く水をくみ出して、かわかしたいのです。

「しっぽがだめになっても、かわいい家族を助けなくてはなりません。」

シヴァは身をかがめて、大きな手で小さなリスをなでました。

すると、ジェルーリのやわらかい毛に、鼻からしっぽの先まで、四本の緑のしまができたのです！それは、あいのしるしとしてつけられた、シヴァの指のあとでした。

シヴァが手を上げると、海の水がはまから引いていきました。岩や海そうの間で、ヤシの木はぶじに、かわいた地面の上に横たわっていました。

小さなリスは急いでそこへ行きました。しっぽは、今はぴんと高く上がっていました。草の葉をあんだ家の中で、おくさんと子どもたちは、ぬれもせず元気にしていました。

家族が歌ってむかえてくれたとき、ジェルーリは、子どもたちのすべすべした小さなせなかにも、シヴァの指のあとのしまがついているのを見て、大よろこびしました。

このあいのしるしは、今でもシマリスのせなかに見ることができます。

だからインドでは、よい人はシマリスを決してころさないのです。

子どももシマリスも大すきなある人は、このお話をするとき、こう言います。「わたしたちのリスは、シヴァになでてもらったことはないけれど、森のカエデの木で、きずつけずに遊ばせておいてあげたら、きっとよろこぶでしょうね。」

たんご と クイズ　シマリスのせなかに、しまができたわけ

chipmunk シマリス	**tail** しっぽ	**palm tree** ヤシの木
nest す（すみか）	**squirrel** リス	**stripes** しま
seaweeds 海そう		

Q1 リスは、しっぽで何をしていた？

① 魚をつっていた　② 海の水をくみ出していた　③ すなをはいていた

Q2 リスのせなかのしまは、何のあと？

① シヴァの指のあと　② あらしのきずあと　③ ヤシの葉のあと

Q3 インドでよい人がシマリスをころさないのはなぜ？

① 小さすぎるから　② おいしくないから　③ せなかに神さまのあいのしるしがあるから

こたえ

Q1 ②　海に落ちたすの家族を助けるため、しっぽを海にひたしては水をふりはらい、水をくみ出していたのです。

Q2 ①　シヴァが大きな手でなでたときにできた、指のあとです。あいのしるしなのです。

Q3 ③　シマリスのせなかには、今でもシヴァのあいのしるしがあるので、インドのよい人は決してころさないのです。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #30800（Flora J. Cooke、1895年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Linette Geisel（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。